

大人のチカラ

25

～子どもたちの未来のために～

子育ても新時代へ 「イクメン」のすすめ

父親の役割①

昨今「イクメン」という言葉をよく耳にします。これは子育てを楽しむ、子育てに積極的に取り組むことで、自分自身も成長する男性のこと。あなたも子育てに参加し、社会的にも家庭的にも輝きを持った「イクメン」を目指しましょう。

「母は子育て」の 固定概念を捨てる

「父は仕事、母は子育て」はもう過去のこと。社会全体が大きく変化した現代では、父親も含めた地域全体で

子どもを育てるという考え方が定着。男女共同参画や少子化対策といった政策的な流れに伴い、さまざまな形で子育てをサポートする動きがあります。一方で、プライベート重

子どもと一緒に 自分自身も成長

視の住宅事情などで、子育て中の母親が孤立してしまいうことも。子どもと向き合う時間が長ければ長いほど、悩みやストレスも蓄積されます。仕事を持つ場合には、時間的にも育児がハードになるでしょう。そこで周りの支え、特に父親の育児協力が必要とされているのです。

「父親の子育て参加は『母親を助ける』という重要な役割以外に、自身にとって大きなメリットがあります」と香川大学教育学部准教授の松本博雄さん。保育・乳幼児の発達に関する研究

や講演活動を行う松本さんも、3児のパパ。イクメンとして子育てに喜びを感じているそうです。

家庭内の仕事をシェアすれば母親の負担が軽減されるだけでなく、心理的にも大きな支えとなります。さらには父親自身の価値観にも変化が。子どもは自分の思い通りにならなかったり、急に泣いたり病気になるったり…。それらを経験することで柔軟性や相対的な価値観が身に付き、仕事面でもプラスとなります。

「やらされている」と思えば苦痛に

感じることも、積極的に取り組むことで楽しみが見えるもの。子どもと一緒に過ごす時間を存分に楽しんでほしいですね。子どもの健やかな成長のため、そして魅力的な自分自身を手に入れるためにも「イクメン」に挑戦してみてください。

